

障がい者と震災・原発

～3.11以後をどう生きるか～ 主催：ヒューリアみえ

2011年3月11日の東日本大震災をうけて、私たちは何を考えてきたのでしょうか。

災害で被災するとは、普段の日常とは違う「非日常」ですが、障がい当事者・家族からは、「私たちはいつも災害にあっているように非日常」を生きてきたのです。」と言われました。

このような声、叫びに、まわりの私たちは真摯に向き合ってきたのでしょうか。

あれから、2年の月日が経過しようとしています、

- ① 震災・原発問題を風化させてはいけない。(三重での南海トラフ大地震への備えは?)
- ② 障がいがあるかないか、「支え」を必要とするかしないか、で分けてしまう「優生思想」(障がい者に対する否定的な価値観)の流れについて考える。
- ③ 「自助、共助、公助」のあり方を問い直す。

このような観点から、2013年は、福島から問題提起をしていただく方を迎えて、「映像と講演」など、持続して皆さんと一緒に考える機会とさせていただきます。

※ ヒューリアみえでは、2011年6月、障がい当事者、当事者団体を主軸に大学の研究者等で組織する「災害時においても障がい者への合理的配慮が確立される三重をつくる研究会」を発足し、研究を重ね、2012年3月、シンポジウムを開催し、その後三重県に提言報告書を提出しています。

日時：3月16日(土) 12:30～16:40 (12:00開場)

場所：三重県人権センター 多目的ホール 津市一身田大古曾693-1

※手話通訳あります。 ※赤外線補聴システムの受信機(5名分)あります。

参加費：無料 先着180名 (フロアを使用します。)

第1部：映画「逃げ遅れる人々～東日本大震災と障害者～」上映

※字幕あります。 監督：飯田基晴 制作：東北関東大震災障害者救援本部

第2部：基調講演

「震災、原発、そして障がいのある人たち、まちづくり」

鈴木 絹江(すすき きぬえ)さん

福島県田村市 NPO法人「ケアステーションゆうとぴあ」理事長

鈴木 匡(すすき ただす)さん

福島県田村市 生活介護事業所、就労継続支援事業所施設長

第3部：シンポジウム

松田 慎二(まつだ しんじ)さん

NPO法人ピアサポート理事長

柳 誠四郎(やなぎ せいしろう)さん

社会福祉法人おおすぎ副理事長

鈴木 絹江(すすき きぬえ)さん

福島県田村市在住(コメンテーター)

脇田 愉司(わきた さとし)さん

三重短期大学非常勤講師(コーディネーター)

主催：公益財団法人反差別・人権研究所みえ(愛称：ヒューリアみえ)

後援：三重県 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 財団法人 三重県知的障害者育成会 三重県自閉症協会
公益社団法人 三重県障害者団体連合会 社団法人 三重県聴覚障害者協会 社会福祉法人 三重県視覚障害者協会
特定非営利活動法人 三重県精神保健福祉会 NPO法人ピアサポートみえ NPO法人ステップワン
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 自治労三重県本部 三重県教職員組合

第1部 上映作品の紹介

逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者



監督:飯田基晴

製作:東北関東大震災障害者救援本部

<作品解説>

障害があるということは、災害時には普段以上のハンディとなる。

2011年3月11日の東日本大震災、未曾有の大災害の中、障害を持つ人々に何が起きたのか？

福島県を中心に、被災した障害者とそこに関わる人々の証言をまとめた。

障害ゆえに、地震や津波から身を守れず、また必要な情報も得られない…。「ここではとても生活できない」「周囲に迷惑をかけるから」と、多くの障害者が避難をあきらめざるを得なかった。そうしたなかで避難所に入った障害者を待ち構えていたのは…。

更には仮設住宅へ入居しても、そこでも大変な不自由が待っていた。原発事故により市民の姿が消えた避難区域には、取り残された障害者が不安な日々を送っていた。大震災に翻弄される障害者と、その実態調査・支援に奔走する人々の、困難の日々。

住み慣れた土地を追われ、避難先で新たな生活を模索する時、涙とともに故郷への思いがあふれる。

マスメディアでは断片的にしか取り上げられない、被災地の障害者を取り巻くさまざまな課題や問題点が浮かび上がる。

東北関東大震災障害者救援本部 HPより引用

お 申 込 に つ い て

参加票にお名前等をご記入の上、下記のFAXまたはメールアドレスにてお申し込みください。

<FAXの場合> → 下記申込用紙をご使用下さい。

ヒューリアみえ **FAX番号:059-233-5526**

<メールの場合> → 件名:シンポジウムの参加について

①名前 ②電話 ③よろしければ所属など(又は、お住まいの市町)をご記入下さい。

宛先 担当:川本 伸司 宛 メールアドレス:kawamoto@kenkyu-mie.or.jp

お問い合わせ:ヒューリアみえ電話番号:059-233-5525

「障がい者と震災・原発」シンポジウムに参加します

おなまえ		連絡先(電話番号等)	
所属等(市町)			

* 上記の個人情報は、講演会の連絡と参加者数を把握するためにお伺いするものです。

* 講演会実施後は参加票の記録を破棄し、上記以外の目的に利用することはありません。